大分市美術館
OITA ART MUSEUM

PRESS RELEASE
2023.12.06

■展覧会概要

《鵜》1952 京都国立近代美術館

1．展覧会名　須田国太郎の芸術
―三つのまなざし―

2．趣　　旨

須田国太郎（1891–1961）は、「東西の絵画の綜合」という壮大なテーマを掲げ、日本の精神文化に根差した油彩画のありかたを追求し、近代絵画史に偉大な足跡を遺しました。

京都に生まれた須田は、京都帝国大学及び同大学院で美学・美術史を学びました。大学院在学中は「絵画の理論と技巧」を研究テーマとし、並行して関西美術院においてデッサンを学びました。1919 年に渡欧して、スペインのマドリッドを拠点にヨーロッパ各地を訪れ、ヴェネツィア派の絵画やバロック絵画などを模写することで西洋絵画の表現技法を探求しました。1923 年に帰国後、恩師の死をきっかけに制作活動にも力をいれはじめ、1932 年 41 歳の時に初個展を開催。これを契機に、留学中に交流のあった里見勝蔵や川口軌外の誘いにより 1934 年、独立美術協会会員となり同会を中心に、意欲的な作品を次々に発表しました。

本展では、初期から晩年に至る須田の代表作に加え、彼が滞欧中に画家としての視点でとらえた写真の数々や、能・狂言に関する造詣の深さを表出したデッサン等も展示し、須田国太郎芸術の新たな魅力を検証いたします。

3．展示内容　**※本展はすべての作品が撮影可能！**

須田国太郎の油彩　約 60 点
須田国太郎関連写真　約 100 点
須田国太郎のデッサン　約 50 点
須田国太郎収集グリコのおもちゃほか関連資料　約 200 点　　計約 410 点（未定）

4．会　　期

令和 6 年 1 月 5 日(金)~2 月 18 日(日)　計 40 日間
休館日：1 月 9 日（火）、15 日（月）、22 日（月）、29 日（月）、2 月 13 日（火）

5．開館時間　午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）
6．会　　場　大分市美術館企画展示室
7．主　　催　大分市美術館、大分合同新聞社、OBS 大分放送、須田国太郎展実行委員会、公益財団法人　きょうと視覚文化振興財団
8．後　　援　エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム、NOAS FM、 ゆふいんラヂオ局

9．協　　力　大分県立芸術文化短期大学、平和市民公園能楽堂

本資料に関するお問い合わせ
〒870-0835
大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800　FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

10. 観 覧 料

区分	個人	前売り・２０人以上の団体
一　般	１，０００円	８００円
高校生・大学生	７００円	５００円
中学生以下	無料	

※上記観覧料でコレクション展も併せてご覧になれます。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料。

※本展は「大分市美術館年間パスポート」がご利用になれます。

【前売り券】

販売期間：令和５年１２月１日～令和６年１月４日

販売場所：ローソン(ローソンチケット　Ｌコード：83025)、セブンイレブン（チケットぴあ　Ｐコード：686-676）、大分市美術館、大分合同新聞社本社受付、同ﾌﾟﾚｽｾﾝﾀｰ、OBS 大分放送地域事業部、トキハ会館

【須田国太郎作品解説おまけカード（くにたろうカード）をプレゼント】

須田国太郎展の前売り券をご購入いただいた方、先着１００名様に「須田国太郎作品解説おまけカード（くにたろうカード)」をプレゼントします。　※前売り券をコンビニでご購入の方は、大分市美術館受付にてお渡しします。　※数に限りがございます。なくなり次第終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

【めがね×ジャケット割】

会期中、めがね×ジャケットでご来館のお客様は、団体割引料金となります。チケット販売所で券売スタッフにお声がけください。

11. 巡回先　　碧南市藤井達吉現代美術館、西宮市大谷記念美術館、三之瀬御本陣芸術文化館、世田谷美術館

問い合わせ先
大分市美術館　美術振興課　担当:後小路
〒870-0835 大分市大字上野 865 番地
TEL:097-554-5800　FAX:097-554-5811

大分合同新聞社 マーケティング統括局イベント事業部
〒870-8605 大分市府内町 3-9-15
TEL:097-538-9647

OBS 大分放送　営業局地域事業部
〒870-8620 大分市今津留３丁目１番１号
TEL:097-553-2509

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835
大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800　FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

■本展のみどころ

01.　須田国太郎の作品を九州でまとまってみられる貴重な機会！

京都に生まれ、京都で生涯を過ごした須田国太郎の作品の多くは、ゆかりの地である京都や関東の都市部の美術館に所蔵されており、九州では須田国太郎作品を目にする機会はなかなかありません。本展は、須田国太郎の名品はもちろん関連資料等を含め約 410 点を九州でまとまってみられる、貴重な展覧会となります。

02.　須田国太郎の旅を写真もあわせて紹介します！

本展は、「須田国太郎の芸術―三つのまなざし―」というテーマで作品を展示します。三つのまなざしのひとつは「旅でのまなざし」です。須田国太郎は生涯で、数多くの旅に出かけました。なかでも 1919-23 年のスペインを中心とするヨーロッパ滞在は、その後の須田の制作に大きな影響を与えました。本展では旅先で須田が実際に撮影した写真や、旅先で写生するために用いた道具類もあわせて展示し、須田の旅をより身近に感じられる展示となっています。

03.　須田国太郎の能への関心に迫ります！

三つのまなざしのふたつ目は「幽玄へのまなざし」と題し、須田国太郎の能・狂言への関心に迫ります。須田は十代のころから、謡曲を習うなど能への関心を持ち、能舞台を鑑賞しながらたくさんのデッサンを残しています。本展では須田の能に関する作品を紹介するとともに、平和市民公園能楽堂とコラボレーションすることでより能に親しんでもらえる展示となっています。

04.　須田国太郎の代表作と著書を紹介します！

須田国太郎は、制作と学術研究、その両面から「芸術的真理」を探究しました。三つのまなざしの三つ目は、「真理へのまなざし」と題し、須田の代表的な黒を基調とした作品群を核に《犬》（1950 年、東京国立近代美術館）をはじめとする代表作品と著作を紹介します。

05.　須田国太郎の新たな魅力！

「膝を崩して座る姿を見たことがない」と近しい人々が述べるほど、真面目な須田国太郎ですが、「グリコのおもちゃ」を熱心に蒐集していたという意外な一面も。本展では、須田の蒐集した「グリコのおもちゃ」や愛用のカメラなどの遺品も併せて展示し、須田国太郎芸術の新たな魅力を検証します。

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835
大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800　　FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

■須田国太郎ってどんな画家？

須田国太郎は京都生まれの洋画家。しかし、美術の実技を学ぶ学校ではなく、京都帝国大学（現在の京都大学）の文学部哲学科に入学し、美学美術史を学んだ、画家としては異色の経歴の持ち主です。

～スペインに滞在～

「絵画の理論と技巧」を研究テーマに大学院に進んだ須田は並行して、関西美術院へと通い始め、それまで独学で描いていた洋画の専門的な教育を受けます。第一次世界大戦の終結を待って、西洋絵画の研究のため、1919 年にヨーロッパへと渡ります。当時、多くの画家が留学先として芸術の都とうたわれるフランスや古代ローマからルネサンス美術まで豊かな芸術の歴史をもつイタリアを選択する中で、須田が選んだのはスペインでした。スペインにあるプラド美術館は、油彩表現の花ひらいたヴェネツィア派の作品が数多く所蔵される美術館であり、ヴェネツィア派に関心のあった須田は「プラドの内容は予想を裏切らぬもので狂喜して」通ったと回顧しています。須田はプラド美術館へと通い名画の模写を行ったほか、各地を旅行して写生しました。

～美術史の講師として教壇に～

帰国後の須田は、画家として作品を制作したいという思いを抱えながらも、作品を発表することなく和歌山高等商業学校や京都大学の講師となりました。同校で「希臘芸術史概説」「バロッコ絵画」「ギリシャ彫刻史」などの講義を行うなど、研究者の道を進んだかのように見えました。しかしながら、当時も須田は、写生旅行へでかけるなど必ずしも制作から離れていたわけではありませんでした。

～画家として～

そんな須田が再び制作と作品発表に力を入れ始めたのは、1928 年の恩師・深田康算の逝去がきっかけのひとつだといわれています。須田は恩師の肖像を描くことを申し出たほか、帝展への出品や初個展に挑戦しました。帝展には落選しましたが、この個展をきっかけに、川口軌外や里見勝蔵の尽力によって、1934 年、須田は独立美術協会の会員に挙げられました。以後、没するまで同会に作品を出品したほか、同会の研究所や同会主催の夏期講習などで指導にあたりました。1947 年には、日本芸術院会員に任命され、須田の日本の美術界における存在感は増していきました。その結果、全国からの審査や講義、講演の依頼が舞い込み、生活は多忙を極めましたが、それでも制作の時間を捻出し、意欲的な作品を発表し続けました。

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835
大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800　FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

大分市美術館
OITA ART MUSEUM

PRESS RELEASE
2023.12.06

■展示作品画像

<table>
<tr>
<td> </td>
<td> </td>
<td> </td>
</tr>
<tr>
<td>《遺跡（サグント劇場跡）》1922-23 頃 三之瀬御本陣芸術文化館</td>
<td>《唐招提寺礼堂》1932 京都国立近代美術館</td>
<td>《黄豹》1944 三之瀬御本陣芸術文化館</td>
</tr>
<tr>
<td> </td>
<td> </td>
<td> </td>
</tr>
<tr>
<td>《山姥》1948 京都国立近代美術館</td>
<td>《犬》1950 東京国立近代美術館</td>
<td>《窪八幡》1955 東京国立近代美術館</td>
</tr>
</table>

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835
大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800　FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

大分市美術館
OITA ART MUSEUM

PRESS RELEASE
2023.12.06

■関連イベント

①ワークショップ「須田国太郎なりきり油彩体験！」

日　　時：1月13日（土）13時30分～15時30分

場　　所：大分市美術館 研修室

内　　容：須田国太郎のミニ油絵を描こう！ぬり絵のように描くので初心者でも安心です。

参 加 費：500円+高校生以上は当日有効な観覧券又は年間パスポート

講　　師：当館指導主事

定　　員：15人程度

申込方法：応募フォーム（応募多数の場合は抽選）

申込期間：12月1日～12月20日

応募フォーム

②対話型鑑賞「絵画ってどうみるの？須田国太郎展ゆっくりおしゃべり鑑賞会」

日　　時：1月20日（土）13時30分～15時30分

場　　所：大分市美術館 展示室など

内　　容：作品を前にザトーさんと自由におしゃべりしながら須田展を鑑賞します。その後、みなさんと座談会を行います。

参 加 費：500円+高校生以上は当日有効な観覧券又は年間パスポート

講　　師：視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ衛藤宏章（ザトー）氏

定　　員：5人程度

対　　象：絵画の楽しみ方がよくわからないすべての方

※サポートが必要な方はお気軽にご相談ください。

申込方法：応募フォーム（応募多数の場合は抽選）

申込期間：12月15日～1月10日

応募フォーム

③ワークショップ「平和市民公園能楽堂プレゼンツnoh 能 know?」

日　　時：1月28日（日）12時～15時30分（所要時間10分）

場　　所：大分市美術館 ティーラウンジ

内　　容：能装束は、実用の衣服と違い、舞台という仮の世界で理想化され、象徴化された人物や神を表わす衣裳です。本来であればシテ方（主役）しか着ることのできない室町時代～江戸時代の装束をはおって、能面と一緒に記念撮影できる貴重な体験イベントです。

参加条件：高校生以上は須田国太郎展観覧券（半券も可）又は年間パスポートの提示

講　　師：観世流シテ方能楽師　谷村育子氏ほか　3名

対　　象：身長150㎝以上

定　　員：40人

申込方法：応募フォーム（先着順）※申込状況によっては当日参加も可

申込期間：1月6日～

応募フォーム

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835
大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800　FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

備　　考：〇平和市民公園能楽堂に普段展示されている、能の面を展示室にて展示します！
　　〇ミュージアムショップでは、平和市民公園能楽堂のグッズを販売します！

④ギャラリー・トーク

日　　時：1月6日（土）、11日（木）、27日（土）、2月1日（木）14時30分～15時

場　　所：大分市美術館 企画展示室内

内　　容：展覧会をより深く楽しんでいただけるよう、鑑賞者と展示室を回りながら、作品および鑑賞ポイントを担当学芸員が解説します。

参 加 費：高校生以上は当日有効な観覧券又は年間パスポート

解　　説：本展担当学芸員

⑤同時開催展覧会「SoGraphics MIX」

会　　期：1月21日（日）～2月4日（日）　※休館日などは大分市美術館と同様

場　　所：大分市美術館 研修室

共　　催：大分県立芸術文化短期大学

内　　容：大分県立芸術文化短期大学 グラフィックアートコース学生・教員・ゲストアーティストによる作品展です。

講 演 会：2月3日（土）（14時～16時）大分市美術館ハイビジョンホールにて、版画家・山本容子氏による講演会を行います。
　　詳細につきましては、下記Facebookページをご確認下さい。
　　https://www.facebook.com/GraphicArtCourse

観 覧 料：無料

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835
大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800　FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）